

## 山岳会は積極的に情報発信を！

### 3.12-13 山岳会活性化研修会開催

3月12日～13日に国立日高青少年自然の家で開催した「山岳会活性化研修会」は、3月11日に発生した東北大震災・大津波による東北太平洋沿岸への壊滅的な被害のニュースが終日報道される中、道岳連加盟13団体より19名の会員が参加して実施しました。今年度の研修会は、テーマを“山岳会活動が停滞している”とし・・・山岳会活性化のためには、どのように取り組むべきか・・・をストレートに取り上げました。

小野会長は講演の中で「レジャー白書2010」によると、日本の登山人口は2009年で約1,230万人だが、組織されているのは9万人弱で、「組織に入るのは煩わしい」という風潮から、単独行や安易なツアー及びガイド登山に向かう傾向があり、遭難事故が絶えない。“安全登山”の啓発・普及を図るのが道岳連の使命でもあると述べました。

研修会の講師として招いた滝澤氏は「知床での自然保護と山岳活動」をテーマに講演し、「地域の山岳における自然環境保全や登山道の整備は、地元の山岳会組織の関わりが非常に大切です。」と強調されていました。

神山理事長からは「様々な目的を持った会員が加入している山岳会をどう盛り上げていくか」「楽しく、レベルや技術を高める多彩な企画が必要」「安全登山の取り組みは、研修や勉強が必要、リーダーの養成にも繋がる」「組織の原動力は若い会員だ」「山岳会のPRをどう進めていくか」「道岳連の情報が会員まで届いているか」などの問題提起がなされました。

研修では【①山岳会の悪さの洗い出し → ②出された悪さを共通テーマに分類 → ③テーマごとのグループ討議 → 改善案の発表】と「アイデアを出し合う手法」を採用しました。

【悪さ】では「会員の高齢化、若い人が入ってこない」「ベテランが中心の会だ」「思ったほど山に行かない」「参加者が決まっている」「山の仲間ですら」「対外交流がない」などなど強烈な実態が浮かび上がりました。

【改善案】では「ロードマップ ⇒ きちんとした目標を立てる」「ベテランは敷居を低くする」「山岳会でHPを持つ、内容は山の紹介から山岳会へと結びつける」「山岳会のコマーシャルを積極的に」「他の山岳会と交流を持つ」「道岳連事務所の



グループ討議



## 日高登山研修所開き・各委員会会議

夏山シーズンを控え、北海道山岳連盟日高登山研修所がオープンした。研修所開きは4月16日～17日の両日、各山岳連盟・山岳会より54名、運営委員7名の計61名が参加して開催。開会式、館内清掃の後、会場ごとに委員会議が行われ、平成22年度の事業報告、平成23年度の事業計画等について活発な議論が交わされた。

各委員会の事業については、5月8日開催の「北海道山岳連盟定期総会」で提案される。

なお、新年度の指導員登録更新事業では、2012年3月までの有効期限指導員が9名、同9月までが11名となっており、2013年から日体協及び日山協で義務研修受講の審査が厳密に行われるので、有効期限までに必要なポイントを確保するよう指示があった。今後の更新登録のための義務研修は5月21日～22日の「夏期遭難対策研修会」ほか7研修事業が予定されている。



参加者全体会議

2日目は1445峰、ペケレベツ岳、熊見山での山スキー、スノーシューハイクを予定していたが、日勝峠付近は猛烈な吹雪のため撤退、屋内のクライミング、応急手当、山岳ドキュメントDVD鑑賞組と合流して研修を行った。

## 指導委員会

### 山岳スキー指導員研修会 12/18-19 札幌国際スキー場・朝里岳

平成22年度の山岳スキー指導員研修会は、12月18日札幌国際スキー場、19日は朝里岳にて開催しました。例年になく雪不足で開催が危ぶまれておりましたが、私たちの熱い思いが通じて新雪パウダーの良いコンディションでスタートしました。メンバーには小野会長も参加され、総勢21名の道岳連山岳スキー指導員・準指導員が集まりました。

今シーズンは道岳連創立60周年記念事業向けとして、山岳スキーのDVD製作がいよいよ始まります。スタッフも同行して新雪パウダーに雪まみれになりながら深雪滑りにチャレンジしました。

(報告者 指導委員会 藤木 晴夫)

### 山岳スキー技術講習会 1/15-16 旭川カムイスキーリンクス

吹雪、大量の降雪・・・高速道路も随所で通行止めというあいにくの天候ではあったが、そんな中でも北見や登別など遠方からも多くの参加者を得、総勢21名で講習会が開催された。

初日はカムイスキーリンクスのゲレンデを中心に、基礎技術の練習を行った。宿泊施設は道立青年の家「ゆーすくる おとえ」、真新しい近代的施設で快適であった。夕方から夜にかけては座学として“深雪の滑り方”を荒掘講師から学び、映像によるプロの滑り方を堪能した。

2日目は、上川三山の一つ摺鉢山(1,026m)でのスキー登山を計画していたが、天候や道路状況が懸念され、カムイスキーリンクスで“より深雪を滑り込む”ことに変更した。裏斜面・外側・

間の樹林帯など豊富なパウダー斜面で、シール登高、抜き上げキックターン、弱層テストなども積極的に取り組み、内容の濃い講習会となった。どの参加者からも“一皮むけた”、“知識として知っていたことが、こういうことだったんだ”などの声があがっていた。(報告者 芳澤 昭仁)



充実した講習内容に満足気な参加者

## 山岳スキー技術養成講習検定会 2/5-6 三段山・白銀荘

2月5日から6日にかけて、今シーズンの山岳スキー技術検定会が十勝連峰三段山会場で行われ、各部門合わせて9名の受験者が北海道で一番良質な新雪深雪パウダーにチャレンジしました。

初日はあいにくの荒天で吹雪視界不良の中、二段目からの滑走講習を実施、白銀荘で体のシバレを癒して学科試験に臨みました。

第二日目は無風、ブルースカイに新雪深雪パウダーと絶好のコンディションのもと、最高の検定会になりました。“素敵斜面”の案内人は土屋副会長が先導してくれました。

今回目立ったのは、若い山スキーヤーの台頭で、逸材がそろった感じがします。どうしても滑走技術偏重に走りやすいのですが、冬山技術もマスターした「総合技術の山スキーヤー」として育ち活躍してほしいと期待しています。(報告者 指導委員会 藤木 晴夫)

### 《検定会内容と合格者》

#### ①山岳スキー技術リーダー

基礎的な山岳スキー技術及び冬山知識を有し、山行リーダーの素養を有している。

合格者：塚本 圭一（千歳山岳会） 山田 恭一（美唄山岳会） 若林 誠（新得山岳会）

#### ②山岳スキー技術準指導員

リーダー資格取得者で、山行等で山岳スキー技術の実技・指導ができる。

合格者：堅谷 淳（新得山岳会） 芳澤 昭仁（登別山岳会）

#### ③山岳スキー技術指導員

準指導員資格取得者で、山行等で山岳スキー技術の実技・指導と、山岳スキー講習会において講師として指導ができる。

合格者：難波 正幸（ロビニア山岳会）

## 山岳スキーツアー 2/19-20 ニトヌプリ&イワオヌプリ

景観と雪質に恵まれるニセコの中でも最高のエリアでのスキーツアー。ただし、一旦天気が荒れると、複雑な地形でスキーツアーが不可能になる。今回のツアーでは、安全スキー登山を目的に、改めて基本的なことに注意しながら臨みたい。1日目、下山ルートを意識した偵察山行と、今後のスキーツアーで起こり得るリスク対策のひとつ、雪洞づくりの実習。2日目も、安全、正しい山スキーツアーを目指し、読図、ルート選択、メンバーシップなど基本的なことに留意していただきたい。（企画担当者よりのリーダー、サブリーダーへのお願い。）

2月19日(土)10時五色温泉集合(9山岳会18人) 天候：曇り時々雪 気温：-8℃

A・B2班に別れニトヌプリ、イワオヌプリの途中まで偵察行動。夏道縦走稜線で風強く連山の頂は全く見えず。下山時に雪洞掘り訓練。A・B班ともチームで作業分担し1時間位でビバーク雪洞完成。就寝用に仕立てるには、入り口含めてあと1時間必要だろう。

下山後、濱崎女史司会のビーコン等の講習。色々な種類のビーコンがありその全てが操作方法に違いがあること、それぞれの機種 of 操作方法を知っておくことの必要性等、大いに参考になった。

また、為野氏、寺口氏のリーダー権限と責任に対する意見は、“各々が社会人だから”という遠慮からくる無責任は問題であるとの指摘、反省させられた。各山岳会ともこうした傾向を持っていると思う。

夕食は企画担当氏が自宅で仕込みしたビーフシチューがメインであった。食後、荒掘アドバイサーが持参したスキーDVDを何度も見てイメージトレーニング。22時はほぼ全員就寝。

20日(日)前日からの積雪30cm以上、気温上昇で重い雪 天候：曇り時々雪 気温：-6℃。

各班8時前に出発。イワオヌプリに向うA班は縦走路手前までB班のラッセルを拝借。イワオの登りで雪質に違和感を覚え、斜面途中で下山。やはり、スキーで斜滑降時1m弱の亀裂起こる。また、ニトヌプリの登りの手前鞍部で休憩時、小イワオの中腹急斜面で小規模の雪崩確認。A班がニトからの下山時、B班はイワオ頂上到達。その後、両班とも五色温泉に下るが、それぞれが予定コースを間違える小さなハプニング。登る時はきっちり行っていた地図読みを怠った為と反省した。下山後、この辺りを熟知している寺口氏は再度登り返し、間違えたコースの確認を行ない反省会で報告した。



天候が良ければ全山見通せ何も心配無いコースだが、見晴らしが無いと地図読みが非常に難しいコースと改めて実感し、今回は大いに楽しませていただいた。

(報告者：A班サブ 谷口 写真：B班 藤木)

※山岳スキー関係では、4月2-3日にかけて日勝峠周辺を会場に、5名が参加し検定会が実施されました。

また、3月19-20日に予定していた八甲田山・高田大岳での「山岳スキー技術研修・強化合宿」は21名が参加を予定していましたが、東北大震災のため中止となりました。

## 積雪期指導員検定会 2/26-27 北日高岳・日高青少年自然の家

平成22年度の指導員養成事業は、無雪期（5/29-30、10/23-24）に日高登山研修所を中心に講習会と検定会を行い、積雪期は12月11-12日に講習会を実施、今回は最終の検定会を日高青少年自然の家と北日高岳（日高スキー場）を会場に開催した。



受験者は20名で、冬山におけるリスク対応の基本技術、滑落停止やセルフレスキューなどを講師陣の指導のもと、真剣かつ熱心に取り組んでいた。

検定結果は、合格23名（日山協認定申請中）不合格5名で、不合格者は都合で全日程に参加できないなど、単位不足が主な要因であり次年度の受験に期待をしたい。

←滑落停止実技中の参加者

## 競技委員会

### 第1回全国高校生クライミング選手権大会 12/25-26 埼玉県加須市

埼玉県加須市民体育館クライミングウォールで開催したこの大会は、2010年の日本山岳協会創立50周年記念事業の一環として実施された。1日目はオブザベーションの後、競技開始。男女同時に4つの壁を使ってのオンサイト方式で、6分間の時間内で最高到達点を競う。男子123名、女子69名の参加選手中、予選を突破し準決勝に残ったのは上位男子26名（遠軽高校 菅原亨介選手、札幌西高校 佐藤嘉晃選手）女子27名（遠軽高校 橋本菜稀選手）で、翌日の準決勝は男子が13a、女子が12cのかなり難易度の高いルートがセットされ、完登選手は男子2名、女子1名で、決勝へはそれぞれ8名が進出し、男子は埼玉県の細田選手、女子は山口県の小田選手が優勝した。準決勝に残った北海道の3選手は、菅原選手が総合9位で入賞に一步及ばず、佐藤選手が11位、女子の橋本選手が27位と健闘した。

また、男子学校団体は遠軽高校 - 4位、美唄工業高校 - 21位、札幌稲西高校 - 25位、女子学校団体では遠軽高校 - 11位の成績を残した。

### JFAユース日本選手権大会選手選考会 2/5-6 NAC札幌・レインボークリフ

第14回JFAユース日本選手権大会出場選手の派遣選考及び平成23年10月の山口国体山岳競技に向けて、ジュニア選手の強化を図る目的で選考会が開催された。

19名の代表候補選手が参加し、男子は佐藤嘉晃（札幌西）小山彬（レインボークリフ）早坂翔（美唄工業）西村望（富良野緑峰）菅原宏介（遠軽）天野拓哉（札幌稲西）、女子は佐々木里穂（レインボークリフ）小武芽生（レインボークリフ）橋本菜稀（遠軽）と男女各3名の補欠選手を選考した。

選手の道外合宿を兼ねたJFAユースは、3月25日～28日にかけて千葉県印西市で開催される予定で、3月13日には日帰り強化練習をレインボークリフで行ったが、大震災の影響で大会日程が5月3日～5日に変更された。山納競技委員長らが選手を指導・引率する。

## 自然保護委員会

### 日山協自然保護指導員の登録・更新

日山協自然保護指導員の平成 23 年度新規登録、登録後 5 年経過指導員の更新手続きが 2 月末日をもって終了した。今回は 29 名が更新、10 名が新規登録をし、道岳連における自然保護指導員は日山協でも最大規模の 256 名となっている。平成 24 年度は更新対象者が 78 名に及ぶこともあり、自然保護委員会佐藤委員長は、道岳連加盟各団体会員は積極的に指導員登録し、山岳の自然環境保全に取り組んでほしいと呼びかけている。

## 海外委員会

### 第 49 回日山協海外登山技術研究会 1/30 東京都

49 回目を迎えた日山協海外登山技術研究会は、平成 23 年 1 月 30 日オリンピック記念青少年総合センター（東京都）で、講師 7 名、役員 11 名、会員 27 名の計 45 名の参加により開催した。

#### セッションⅠ「平成 21 年度海外登山奨励金交付登山隊の報告」

- ①Giri-giri boys アラスカ登山隊 2010（天野 和明）  
4/5-5/30 でルース氷河 P7400 f 西壁初登、デナリダイヤモンドフリー化
- ②Giri-giri boys ラトック I 峰北壁登山隊 2010（横山 勝丘）  
5/28-7/23 で北壁撤退後、北稜に転進するがルート困難で敗退  
☆Mt. Logan 登山隊 2010 報告 交付登山隊ではないが、ラトックのメンバー横山勝丘が参加、「第 5 回アジア・ピオレドール賞」を受賞した登山
- ③松本 CMC ランタン・リルン東壁登山隊 2010（岡田 康）  
BC にてセラック崩壊の頻度が高く、危険すぎるるとして登山を中止

#### セッションⅡ「ヒマラヤ研究者による講演・登山隊報告・最新登山情報など」

- ①最後の辺境、チベットアルプス（中村 保・・・ポーランド国際探検家賞受賞）  
ヒマラヤ山脈の東端、チベット、インド、ミャンマー、四川省西部高地に連なる外国人の出入りが難しい地域での山の紹介
- ②カンリガルポ山群 幻の 6,000m 峰（井上 達男）  
①の東チベット辺境に位置する 6,000m 級未踏峰の同定と紹介
- ③富士山測候所利用による初期段階高所順応の有効性について（出利葉 義次）  
静岡市山岳連盟創立 60 周年記念トロンピーク（6,144m）登山隊（60 歳台後半の男女 13 名と医師・看護師各 1 名の総勢 15 名）の初期高度順応で、出発直前に富士山頂に宿泊、結果は良好。
- ④最新の登山情報（池田 常道）  
中国の 5・6 千 m 峰におけるクライミングが目立つ。パキスタンの情勢は安定してきた。登山料は今まで 50% 割引だったのが、40% となり若干の値上がりとなった。

（報告者 海外委員会委員長 工藤 寛）

### 第 19 回北海道海外登山研究会 4/9-10 滝野すずらん丘陵公園 青少年山の家

実行委員の工藤海外委員長、小野会長、佐藤副会長らを含め 37 名が参加し、斉藤 繁 群馬大学教授が「登山活動と健康管理：低山の場合、高所の場合」のテーマで講演。北大山の会など昨年中に海外遠征した道内隊の登山報告や、パキスタンなど現地情報等の交換を行った。

# 今後の諸行事

## ◎登攀研修会（指導委員会主管）

- ・期 日 平成23年5月14日(土)～15日(日)
- ・会 場 サンパワー380（室蘭岳山麓総合公園研修所）及びチャラツナイ海岸  
室蘭市神代町143-3 室蘭岳山麓総合公園内 TEL 0143-44-6055
- ・研修内容 1日目－机上講習、実技講習 2日目－チャラツナイ海岸で実技研修
- ・参加対象 道岳連会員、山岳指導員、山岳上級指導員、コーチ、上級コーチ
- ・参加料 9,000円（講習料、資料代、宿泊費、懇親会費）
- ・持 物 登攀に適した服装・装備及び2日目の昼食・行動食  
登山用ロープ（2人で1本の割合）、登攀具一式、筆記用具、洗面用具等
- ・申込先 〒059-0011 登別市常磐町1-40-4 藤木 晴夫  
TEL&FAX 0143-85-5897 E-メール fuji8ma@nifty.com
- ・申込締切 5月6日(金) ※指導員更新義務研修

## ◎夏期遭難対策研修会（遭難対策委員会主管）

- ・期 日 平成23年5月21日(土)～22日(日)
- ・会 場 日高登山研修所（日高町 千栄）
- ・研修内容 山岳地図読みとコンパス活用の実践（日高研修所及びその周辺）
- ・参加対象 道岳連会員及び一般登山愛好者
- ・参加料 3,500円（21日夕食から3食、その他諸経費）受付時に受領
- ・持 物 筆記用具、コンパス、夏山登山装備、雨具、室内運動靴、シュラフ
- ・研修日程 受付－21日午後12時30分 解散－22日午後2時
- ・申込先 〒080-0341 音更町字音更西1線17番地 斉藤 邦明  
TEL&FAX 0155-42-4175（夜9時頃まで）
- ・申込締切 5月14日(土) ※指導員更新義務研修

## ◎集団登山リーダー研修会（普及委員会主管）

- ・期 日 平成23年5月28日(土)～29日(日)
- ・会 場 国立日高青少年自然の家（日高町字富丘 TEL 01457-6-2311）
- ・研修内容 机上講習、技術講習  
テーマⅠ 安全で楽しい登山を目指す  
テーマⅡ 参加者に喜ばれるサポート  
テーマⅢ アクシデント対策
- ・参集範囲 道岳連会員、登山サポートに携わる会員（募集定員30名）
- ・参加経費 5,000円（会場で承ります）
- ・申込み先 所定の申込書に記入し下記へ申し込みを  
〒080-2470 帯広市西20条南4丁目45-17 荒堀 英雄  
TEL&FAX 0155-36-2226 E-メール tomhero@eagle.ocn.ne.jp
- ・申込締切 5月10日(火)（タイムリミット 5月15日）

## ◎6～7月の各委員会事業予報（実施要綱後日通知分）

無雪期上級指導員養成講習（指導委員会） 6月4-5日 日高登山研修所

沢研修会（指導委員会） 6月18-19日 漁川～漁岳

夏山安全登山講習会（普及委員会） 6月25-26日 トムラウシ山・(旧)トマ登山学校

委員会研修登山（自然保護委員会） 7月9-10日 函岳・松山湿原

中高年安全登山講習会（普及委員会） 7月16-18日 トムラウシ山・(旧)トマ登山学校

教職員互助会サポート登山（普及委員会） 7月29-30日 大雪山

# 第25回北海道山岳連盟交流登山会

～～～ 今年も研修登山を兼ねて阿寒湖畔で開催 ～～～

- 主催 北海道山岳連盟 主管 釧路山岳連盟  
期日 平成23年8月27日(土)～28日(日)  
宿泊 国設阿寒湖畔スキー場内広場芝生でキャンプ  
参加費 3,500円  
申込み 平成23年7月10日(日) 期日厳守(参加費振込み期間 7月30日まで)  
コース
- ①阿寒湖～野中温泉縦走コース（定員50名 バス移動）  
（会場－剣ヶ峰－雌阿寒岳－（バス）会場） 行動時間 6:45
  - ②阿寒湖～オンネトー縦走コース（定員50名 バス移動）  
（会場－雌阿寒岳－阿寒富士－オンネトー－（バス）会場） 行動時間 7:25
  - ③野中温泉～阿寒湖縦走コース（定員50名）  
（会場－野中温泉－雌阿寒岳－剣ヶ峰－会場） 行動時間 6:50
  - ④オンネトー～阿寒湖縦走コース（定員50名）  
（会場－オンネトー－阿寒富士－雌阿寒岳－会場） 行動時間 8:00
  - ⑤雄阿寒岳コース（各自行動 自家用車乗合せ）  
（阿寒湖滝口登山口－雄阿寒岳） 行動時間 7:30
  - ⑥雌阿寒川～阿寒湖 自然環境調査コース（定員25名 マイクロバス移動）  
（会場（マイクロ）－雌阿寒川－白水川ボウラー雌阿寒岳－会場） 行動時間 8:30
  - ⑦雄阿寒岳旧道 自然環境調査コース（定員25名 マイクロバス移動）  
（会場（マイクロ）－鶴見峠口－雄阿寒岳－阿寒湖滝口－（マイクロ）会場） 行動時間 7:00
  - ⑧雌阿寒岳野中温泉コース（自由参加）  
（野中温泉－雌阿寒岳往復） 登り 2:30 下り 1:40
  - ⑨白湯山自然探索路コース（自由参加） 登り 0:50 下り 0:40

### 道岳連だより

北海道山岳連盟広報 No. 61

平成23年(2011)5月1日 発行

発行 北海道山岳連盟

事務所 札幌市豊平区平岸2条9丁目1-47-502

発行責任者 小野 倫夫

編集担当 内藤 美佐雄



## 第3回北海道トレイルランニング大会にご協力を

### 役員として手を貸してください

理事長 神山 健

ご存知のように、一昨年からオリエンテーリング協会とともに開催している「北海道アウトドアフェスティバル」の中で、道岳連は「北海道トレイルランニング大会」を主管しています。今年は第3回大会を昨年と同じルスツスキー場を中心とした会場で、9月24日（土）に開催します。

昨年は役員として道内各山岳団体から約40名の方々にご協力をいただきました。多い方は3日間の長期間働いていただき、深く感謝している次第です。

昨年は参加者が約150名でしたが、今年は大幅アップの300名を目標としています。その為、今年により主体的な大会運営を余儀なくされることが予想され、予定としては約50名の方々にご協力をお願いすることになります。

大会は丁度秋の登山シーズンである9月3連休の中日である上に、2日間または3日間の仕事となりますので、皆さんにはご無理をお願いしなければなりません。道岳連としても乗りかかった大きな行事ですので、何とか成功させたいと思います。それには傘下各団体の絶大なご協力が必要です。どうか手を貸してください。

これから各山岳団体および会員個人にご協力の要請を行いますが、要請された方々にはどうか万障を繰り合わせて手を貸していただきたいと思います。また、ご協力のお申し出も大いに歓迎します。どうかよろしくご協力をお願いいたします。詳細は道岳連ホームページに掲載されています。